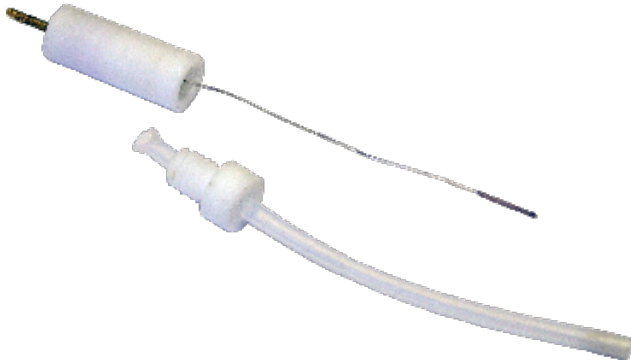




微小Ag/AgCl 比較電極 (Model ET073)



- 本体 TFE 製
- サイクリックボルタンメトリーに最適
- 扱い易く研究室でも実習の場にも便利
- 高い信頼性

《 概要 》

本体がプラスチック製の Ag/AgCl 比較電極は、電気化学の研究分野や実習用に便利です。

《 対応性 》

電極の本体は、多くの化学薬品に耐性な PTFE チューブ製です。電極の銀線は取り出しが可能で洗浄できますし、内部電解液も補充が簡単です。無塩化イオンの条件が必要な時は、可溶性銀溶液を用いて Ag/Ag イオン電解液とします。非水性溶媒を扱う時は、有機溶媒を充填液として用いることができます。

《 アプリケーション 》

比較的電極抵抗が低い (1 MΩ以下) ので、ET073 は pH 電極やイオン選択電極の比較電極として、またはハーフセル電極やボルタンメトリーの作用電極の参照電極として最適です。

《 仕様 》

長さ:	65 mm
シャフトの径:	2 mm
コネクター:	1 mm ピン
本体の材質:	PTFE
液絡部:	Porous Vycor® plug
使用温度:	< 80°C
充填電解液:	3 mol/L KCl
電極抵抗:	1 MΩ 以下

《 取り扱い 》

使用する溶媒の種類や基質分子、取り扱い方によって電極の使用期間は変わりますが、電極を乾かさず、内部液を定期的に補充すれば、数ヶ月は保ちます。

If the AgCl で被覆した内部の銀線が褐色から黒色に変わったら (Ag₂O のため)、電極を再生する必要があります。白のパレルのネジを緩めて上部を外し、銀線を取り出します。この銀線を 0.1 mol/L HCl に約30秒浸し、黒い酸化銀を白の塩化銀に変換します。脱イオン水で洗ってから、3 mol/L KCl に浸けます。パレルに電解液(通常の水溶液の測定では 3 mol/L KCl を使います)を補充し、電極部分を元に戻します。

銀線の汚れがひどい場合は被覆部分を全て取り除きます。銀線を 0.1 mol/L HCl₂ 溶液中に浸け、2電極法(補助電極に白金を使ってください)で30~60秒酸化電位(約 +1~+1.5 V)を掛け塩化銀処理します。銀線が AgCl で十分な厚さまで被覆されるのを確認し、上記のように脱イオン水で洗ってから、3 mol/L KCl に浸け、電極を元に戻します。

多孔性の電極先端部が乾燥して KCl が析出した場合は、30分ほどお湯で洗ってから再活性化させてください。

使用しない時は、電極を 3 mol/L KCl 溶液か脱イオン水に浸け、遮光して保存してください。

www.eDAQ.jp

E-mail: info@edaq.jp

e-corder® と isoPod™ は eDAQ 社の登録商標です。それ以外は、それぞれの所有者の商標です。P15/09



バイオリサーチセンター株式会社 eDAQ事業部
〒461-0001 名古屋市中区泉2-28-24 Tel:052-932-6421